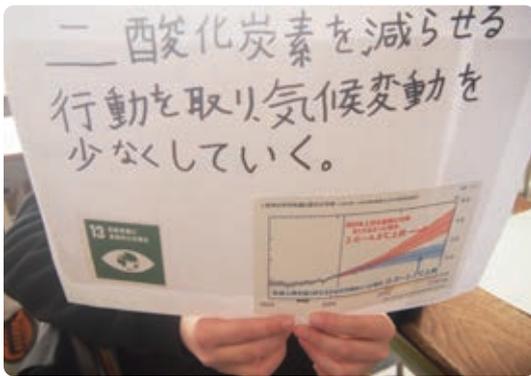


持続可能な社会の創り手を育てるキリバスSDGs学習プログラム

MELON情報紙の10月号でお知らせした「キリバスSDGs学習プログラム」は、持続可能な社会の創り手を育てるために編成した教科横断的な学習プログラムです。今回、このプログラム全13時間を仙台市立中野栄小学校の6年生に取り組んでもらいました。

社会の教科書に載っているSDGsについて調べることから学習は始まりました。次に、キリバス環境出前講話を行い、講師のケンタロ・オノさんが子どもたちの関心を引き出していきました。その後、総合的な学習の時間でSDGsの17の目標の中から自分の課題を選び、それぞれの目標の内容、キリバス共和国と日本、世界はどうかを調べていきました。インターネットで調べてもキリバスの情報はあまり得ることができません。そこで、ケンタロさんにメールをして答えてもらいました。



意見文の発表

調べたことは、国語の学習として意見文にまとめました。交流会では、17の目標のつなが

りを意識しながら友達の意見を聞くように先生が助言しました。

「目標6のトイレは、目標4の教育につながると思います。」*

「それはどうしてですか。」

「学校にトイレがないために、学校に行けない女子がいるからです。」

全体の交流では、子どもたちが目標同士のつながりを次々と発表していき、17のすべての目標が黒板上でつながりました。最後に、特別の教科道徳と理科でさらに深め、SDGsを自分のこととして捉え、これからの生き方につながる学習になりました。

今回の実践事例を含めたものを報告書にまとめました。ご希望の方、さらには、今後、持続可能な社会の創り手を育てる学習の創造・実践をともに進めていきたいという方は、MELON事務局までご連絡願います。

*SDGsの目標6は「安全な水とトイレを世界中に」、目標4は「質の高い教育をみんなに」となっています。



17の目標のつながり

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク—通称『MELON』。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおりて環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 「持続可能な社会の創り手を育てるキリバスSDGs学習プログラム」
- P2 「気候変動適応事業を振り返って」
／「目指せ100人！環境リレートーク」高橋博之さん
- P3 ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.90
- P4 協同組合からのお知らせ
／トピックス／イベント一覧／編集後記

気候変動適応事業を振り返って

MELONでは、宮城県の委託を受けて、「気候変動適応事業」を行ってきました。気候変動への適応策に関する認知度の向上及び地域からの適応策を推進するため、サイエンスカフェやシンポジウム、ワークショップなどのイベントを実施してきました。サイエンスカフェでは、講師である東北工業大学の近藤祐一郎先生の解説を聞き



榴岡公園の散策

ながら、参加者のみなさんと榴岡公園を散策して適応策を考えました。コロナ禍のために現地開催が中止となることもあり



シンポジウムの講演

ました。それでも、感染症対策をしながらの屋外での活動や会場とオンライン配信を同時に行うハイブリット型の開催など、新たな試みをすることができました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。



目指せ100人！ 環境リレートーク



第80人目の執筆者
高橋 博之さん
(株式会社 ポケットマルシェ
代表取締役 CEO)

食料の生産から加工、流通、調理、消費までを含めた現在の食料システムが排出する温暖化ガスは、世界の排出量全体の21～37%を占めている。私たちが1キロカロリー摂取するために10キロカロリーのエネルギーを消費しているこの食料システムの低炭素化を進めなければ、1.5℃目標は達成できない（世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することがパリ協定において示された）。自分が今日、何を食べるかの選択が、人類の未来を決めるのだ。

IPCCの共同議長デボラ・ロバーツ博士は言う。「自分は世界の土地利用をコントロールする力など持っていないと言うかもしれない。しかし自分が食べるものを決める力は持っている。それが土地利用を決定するのだ」。アマゾンを燃やし、未来を燃やしているのが私たちならば、私たちの手でその火を消し止めることもできるはずだ。新型コロナウイルス感染爆発の危機に際し、今の行動が2週間後の感染ピークを決めると科学的エビデンスを示されたわたしたち日本人は、今の行動を変容させることで2週間後の未来を変えることができた。ならば同じように気候危機で人類の生存が脅かされる未来を変えることもできるはずだ。

株式会社 ポケットマルシェ
<https://www.pocket-marche.com/>

… 次号執筆者紹介 …
鴨志田 純さん
(東京都三鷹市 鴨志田農園)



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.90

令和2年度「宮城県ストップ温暖化賞」に2名の推進員が受賞!



表彰式の様子

地球温暖化対策に資する優れた取り組みや活動等を行う個人又は団体等を宮城県知事が表彰する「宮城県ストップ温暖化賞」。その功績を称えるとともに取り組み等の内容を広く紹介することにより宮城県における地球温暖化対策を促進することを目的に令和元年度から創設されました。

今年度も数多くの候補者の中から5件の団体と個人が表彰され、そのうち2件はなんと宮城県地球温暖化防止活動推進員!! 気仙沼市で活動する菊地ひろ子さんと登米市で活動する千葉智恵さんです! 1月9日にみやぎ環境フォーラムにて表彰式が行われました。

お2人は長年、環境出前講座などを通し地球温暖化防

止のための普及啓発を行っています。菊地さんは環境団体「青空エコカフェ」を立ち上げ、家庭で身近にできる地球温暖化対策を紹介。また、震災後は仮設住宅住民の不安を少しでも解消するための講座も開催してきました。千葉さんは「子どもたちの未来に負の遺産を残したくない」という思いから小中学校での環境出前講座を数多く行い、地域における地球温暖化防止に関する普及啓発活動を継続しています。

長年活動している推進員2名が受賞したことはとても嬉しいですね! 推進員は「地域の担い手」であり、地域の活動では欠かせない重要な存在です。これからも一緒に地球温暖化防止のため活動していきましょう!



受賞したお二人の記念撮影♪

推進員だより No.32

第2回宮城県地球温暖化防止活動推進員研修会

参加者：31名（推進員16名、一般10名） 会場：16名、ZOOM：15名
 日時：1月30日（土）13：30～15：30
 会場：フォレスト仙台 第7会議室
 講師：一般社団法人日本キリバス協会 代表理事 ケンタロ・オノさん
 東北大学 大学院理学研究科 地球物理学専攻教授 須賀利雄さん
 ストップ温暖化センターみやぎ スタッフ 亀崎英治

この研修会の目的は宮城県地球温暖化防止活動推進員がより活動領域を広げるために仙台市立中野栄小学校での横断的授業の取り組みから、環境を題材としたSDGs学習の方法を探ることでした。

研修はSDGs学習プログラムの紹介をはじめ、環境出前講話の講師であるキリバス人のオノさん、教育関係者の須賀教授、担当スタッフの3人の対談でした。



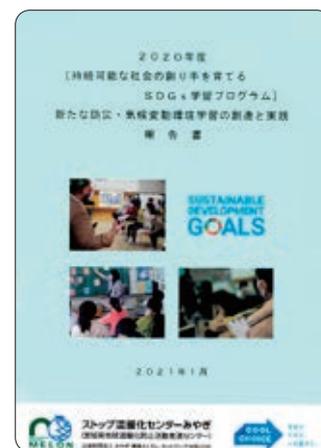
ZOOMを通して配信を実施した

SDGs学習プログ

ラムは、2020年4月から新学習指導要領に「児童が持続可能な社会の創り手となること」が明記されたことが始まりです。

従来から実施していたキリバス環境出前講話に、SDGsを組み入れ仙台市立中野栄小学校の協力で実践しました。(P.1参照)

アンケートの評価は高く、ネット検索では得られない情報・意見交換を共有できた研修となりました。



SDGs学習プログラムの報告書

通称「MELONチャンネル」をぜひご覧ください♪

MELON フェスタの折に役員や学生環境サークルの皆様からお寄せいただいた動画もアップしています。見逃した方、必見！



<https://www.youtube.com/channel/UC6Jsd-ZNxKOYUwQkwfhxnTA>

↑ MELONのYouTubeチャンネルへGO！

<オススメ>

- ◆会員ならば一度は見なければならぬ、MELONの過去・現在・未来
長谷川公一理事長提供「持続可能なMELONへ」
(16分49秒)
- ◆超癒し系。広瀬川のせせらぎ、小鳥のさえずり、カジカガエルの鳴き声。音声だけでも楽しめる、癒しと学びの複合動画。
山田一裕理事提供「広瀬川の水環境調査と音風景」
(35分6秒)
- ◆砂浜に紛れ込んでいるマイクロプラスチックにビックリ！これが海の現実
MELON作「【レジ袋有料化】海って実際どうなっているの？」(4分8秒)

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

イベント一覧 (4月～7月まで)

5/13 (木)	情報センター例会
5/18 (火)	食部会例会
6/6 (日)	身近な水環境の全国一斉調査 (広瀬川)

～各協同組合からのお知らせ～ 仙台市荒浜で海岸林整備と 海洋ごみを調べよう！

日時 5月22日 (土) 10時00分～14時15分
集合 10時00分
荒浜海岸公園センターハウス駐車場
(仙台市若林区荒浜北官林30)
参加費 無料

問い合わせ連絡先

みやぎ生協生活文化部 くらしの活動推進課
TEL : 022-347-3826
FAX : 022-218-5945



こちらからお申込みできます



会員ひとこと～

会員の皆さんの環境への思いやイベントに参加しての感想を声にしていきます。

今年は小規模ながら青葉まつりが開催されるとか。新緑が待ち遠しいです。 (青葉区 みどりちゃん)

編集後記

- 東北楽天にマー君が復帰して、すごい先発投手陣になりましたね。わが東京ヤクルトにとって羨ましい限りです。野球場に観戦に行くと、思いっきり応援できる日が来ることを切に願っております。(亀崎)
- ストップ温暖化センターみやぎ担当の三浦です。3月21日より東北環境パートナーシップオフィス(通称EPO東北)に異動します。勤務地が柏木から本町になります。新しい環境で働くのがとてもフレッシュで楽しみです。(三浦)
- 今まで、なかなか参加できなかった遠方の講演会、シンポジウムが、ネット配信により気軽に参加できるようになり、楽しみが増えました。情報をチェックするのも大変です♪(山形)

〈会員状況〉

509名
法人 56
任意団体 10
個人 443
2021年3月8日現在

ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON協力商品券と交換できます。



MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <https://melon.or.jp>

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。

